

社会資本総合整備計画				社会資本整備総合交付金				令和08年01月28日						
計画の名称	関内・関外地区（Ⅱ期）都市再生整備計画事業													
計画の期間	令和０８年度 ～ 令和１２年度（５年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	横浜市													
計画の目標	大目標：「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマとして、官民が連携した地区の賑わい・交流、活性化の核の創出、歩行者の安全性・快適性を確保するための歩行者空間を整備し、回遊性の向上を図る。 ・官民連携した取組により賑わい・交流、回遊性を向上させ、地区全体の活性化を図る。 ・イベント時等の来街者の増加を見据えた、歩行者空間の整備を推進する。 ・新たな親水施設整備による来街者の増加を見据えた歩行者の安全性・快適性を確保するための整備を推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		1,250	A	1,250	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7		R12
1	歩行者デッキの整備により歩行者の安全性や快適性、回遊性の向上、まちの更なる賑わい創出や魅力向上を図る。			
	安心・安全で賑わいのある歩行者空間の創出	43人/㎡・分	人/㎡・分	32人/㎡・分
	平日・休日時における関内地区から中華街地区への横浜公園を経由した既存歩行者交通の歩行者水準の向上			
2	親水施設の整備と合わせた周辺道路整備により、快適な歩行空間、滞留空間を創出し、安全性・快適性の向上、周辺環境との調和を図る。			
	イベント時等における魅力ある滞留空間・交流拠点の創出	10000人/日	人/日	11000人/日
	元町・中華街駅周辺における歩行者交通量の増加			
3	官民連携した取組により賑わい・交流、回遊性を向上させ、地区全体の活性化を図る。			
	エリアの持続的な賑わいや交流を創出	2箇所	箇所	3箇所
	民間団体による恒常的な活用が推進されている公共空間の箇所数			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	横浜市	直接	横浜市	－	－	関内・関外地区（Ⅱ期） 都市再生整備計画事業	地域生活基盤施設等 123.4ha	横浜市	■	■	■			1,200		－	
	A10-002	都市再生	一般	横浜市	間接	横浜市	－	－	関内・関外地区（Ⅱ期） 都市再生整備計画事業	エリア価値向上整備事業 123.4ha	横浜市	■	■	■	■	■	50		－	
											小計							1,250		
											合計							1,250		

(参考様式3) 市街地整備

